



あ、自分にもできる（親近感）活動があるかもしれない（興味・関心）参加してみよう（行動）
そんな会員向け通信を目指しています。



われら、秋田わらび座応援団！

「秋田をなんとかせねば」—喜藤さんと越後屋さん。秋田高校の同期生であるお二人は、会えばこの思いを確かめ合うという。お二人は、秋田県の風土を「高貴なる田舎」と語る。久保田藩（佐竹藩）以来の武士文化と、農村社会に広がった教養文化、美意識が重なる土地柄への自負がその言葉ににじむ。首都圏在住の秋田ゆかりの人材が集う「あきた産業サポーターズクラブ」に参加し、人口減少や高齢化に直面するふるさとに、外からできる支援を模索してきた。「秋田にはまだ生かし切れていない技術やリソースがある」と、企業人としての経験とネットワークを活かし、スタートアップ支援などにも力を注ぐ。その延長線上で、秋田発の文化を担う劇団「わらび座」の応援にも携わっている。3 月の東京公演 HANA を機に、DF 東北ブロック秋田ゆかりの会員達と「首都圏わらび座サポーターズクラブ」を立ち上げ、PR 役を務めている。郷土の文化と産業を支える活動は、こうして静かに続いていく。

談：喜藤憲一（768）／越後屋秀博（1362）東北ブロック・秋田ユニット

<編集部注記>

秋田発の劇団「わらび座」が 3 月 14 日～22 日 「全席参加型・祭エンターテインメント・祭シアター「HANA」を新宿ミラノ座で上演。秋田の竿灯祭をはじめ東北六県の祭りの熱気を体感できる舞台。
[祭シアター HANA 公式ページ](#) | [【速報】東京公演決定！2026 年 3 月 東急歌舞伎町タワー シアターミラノ座（新宿）にて](#)

◆◆ 私の推し街 連載 ◆◆



男鹿のアジサイ寺 秋田

喜藤憲一（768）

私の生まれ故郷は秋田県の八郎潟町。干拓地の八郎潟を挟んで海側にあるのが男鹿半島です。男鹿といえば、なまはげが有名で、その多数が展示されてる「なまはげ館」と実演をする「伝承館」があります。紹介したいのは、そこから4キロほどのところにある雲昌寺で、「死ぬまでに行きたい世界の絶景」にも選ばれています。江戸時代の初めに開山した曹洞宗のお寺ですが、副住職が20年前から丹念に育てたアジサイがとても見事です。2000本に及ぶブルーのアジサイがじゅうたんを敷き詰めたように花を咲かせ、見晴らし台からは日本海が良く見えます。



アジサイのじゅうたん@雲昌寺

撮影：喜藤憲一

毎年6月中旬から7月中旬まで、夜はライトアップをして朝、昼、夜と違ったアジサイで見る人を楽しませてくれます。ところどころにいる「めんこい」（秋田弁で可愛いのこと）微笑み地蔵は人の心を和ませてくれることでしょう。男鹿は魚介類も豊富で石焼料理も絶品、温泉につかりゆっくり楽しみたいところです。

お知らせ

本部便り

《イベントのお知らせ&報告》

・2月26日 富山国際大学附属高校で進路探求講座（90分授業×2回）開催
地域デザイン・北陸プロジェクトとして開拓した、富山県での授業支援活動。DF授業支援グループより6名の講師が派遣されました。振り返りシートから、生徒がそれぞれ気づきを得た様子が伺えた授業でした。

≪私の推し街大募集！≫



地域デザイン通信では、会員の皆様の「心の中のふるさと」自慢を掲載しています。生まれた場所、かつて住んだ場所、思い出の地など、是非ご自身の思いをお寄せください。

特に、ピンのない県・地域のお国自慢、お待ちしております。

= 要綱 =

- ・本文 400 字以内
- ・タイトル
- ・写真、又は絵 1 枚

問い合わせ先：ご意見、感想、お問合せなど下記までお寄せください。お待ちしております

dfchiiki-tsushin@directforce.org

編集部：小島千代美・松瀬高志・宮武里美・岡田知之

（編集後記）秋田をめぐる記事が 2 本。「今できることで、ふるさとを支える」という静かな覚悟と強い想いを感じました。文化も産業も、人の思いと行動でつながっていくんだな・・・。遠く離れても関われる地域貢献のかたちを、改めて教えていただきました。（M2）

地域デザイン通信 バックナンバーはこちら <https://directforce.net/regional-design/> ページの一番下までスクロールしてください。